

[遊休農地活用運動に係る活動グループ(H24活動実績)]

市町村数	取り組み件数	取組面積	大豆			そば			その他(野菜等)		
			大豆	そば	その他(野菜等)	大豆	そば	その他(野菜等)	大豆	そば	その他(野菜等)
50市町村	136件 継続: 115 新規: 21	432ha	46ha (22件)	141ha (43件)	245ha (72件)						

取組グループ一覧

地事	取り組みの 新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ (タイトル)	作 目 名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組 面積 (a)	取組タイ プ
	継続	合計	136				43,231	
	115	大豆	22				4,553	
	新規	そば	43				14,134	
	21	その他	71				24,544	
佐久	継続	佐久市	東春睦会	安心できる食材と地産地消	大豆	①春日(岩下・入新町)地区 ②大豆 ③東春睦会 ④昔ながらの安心出来る味噌を作るため、遊休荒廃化した農地を利用して大豆の作付を始めた ⑤販売目的とした大豆生産量の拡大	55	付加価値向上型
上小	新規	東御市	東御市農業農村支援センター 東御市農業委員会 東御市	担い手不足から耕作放棄された畑の再生	大豆	①東御市中八重原地区 ②大豆 ③八重原地区農業者 ④高齢化により耕作放棄地となった畑の所有者から相談があり、地区内にて解消に向けて取り組んだ。 ⑤地区内で利用者が借り受け、大豆を作付けすることとした。	18	その他
諏訪	新規	富士見町	富士見町味の開発研究会	遊休農地で栽培した大豆を活用しての味噌づくり	大豆	町内の遊休農地を活用して大豆の定植作業を実施し、10月に収穫した。現在熟成中であり、今年11月の蔵出し後の販路として、地元の直売施設、県外への宅配、地元の保育園・小中学校の給食の食材として活用する予定。	50	地域特産物開発型
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会(農業委員会、普及センター)	親子で大豆栽培から味噌づくりまで体験。	大豆	大豆栽培から味噌づくりまでを親子40組を募集して農作業体験をしてもらう。種まき、草取り、収穫、味噌づくりまでを体験。農業委員会が中心に指導を行う。	33	付加価値向上型
下伊那	継続	飯田市	飯田市農業振興センター、山本地区農業振興会議、JA女性部、JA、旭松食品(株)他	企業、消費者、農業者連携による大豆栽培	大豆	飯田市と旭松食品(株)はH18年度にパワーアップ協定を結び、山本地区農業振興会議が中心となり、山本地区の遊休農地を活用して大豆ので契約栽培を行い、蒸し上げ大豆等を商品化している。 また、JA女性部山本支部では8年ほど前から遊休農地となっていた水田や畑で大豆を栽培し味噌作り等を行っている。平成19年度からは新たな取り組みとして、大豆畑トラスト運動のオーナー農園を設置し、消費者による大豆栽培や加工を実践している。	45	地域特産物開発型
下伊那	継続	飯田市	飯田市農業振興センター、上久堅地区地区農業振興会議、JA、丸昌稲垣(株)	企業、消費者、農業者連携による大豆栽培	大豆	上久堅地区農業振興会議と丸昌稲垣(株)はH19年度に業務連携契約を結び、上久堅地区の遊休農地を活用して大豆ので契約栽培を行い、大豆等を商品化している。 ニッポンの食、がんばれセクションで上久堅味噌が受賞。	60	地域特産物開発型
下伊那	継続	高森町	町、町営農業支援センター、各地域農政集団	遊休農地活用推進	大豆	①下市田1区地域農政、下市田5区地域農政、ほか個人 ②大豆(つぶほまれ) ③高森町営農業支援センターゆうき、各地域農政 ④旭松食品の情報により平成20年度から大豆「つぶほまれ」栽培に取り組むこととなり、栽培契約の下、遊休農地へは種、収穫を実施。	200	地域特産物開発型
下伊那	継続	阿智村	阿智村役場	遊休農地の解消	大豆	遊休地対策として、栽培申請農家への大豆買い上げ補助金制度を設定	150	地域特産物開発型
下伊那	継続	大鹿村	役場	地域特産品の開発と遊休農地対策	大豆	①大鹿村全域、②在来種「中尾早生大豆」、③中尾早生栽培組合(33名)、④古くから栽培されていた地大豆「中尾早生」の品質確保により特産化を図るため、平成11～15年系統選抜し優良種子を確保。生産組合を設立し栽培振興と豆腐等の商品化を図っている。⑤遊休農地を含め更に栽培振興を図る。	205	地域特産物開発型
下伊那	継続	飯田市	飯田市農業振興センター、川路地区ほか各地区農業振興会議	遊休農地を活用した大豆・ソバづくり	大豆・そば	各地区農業振興会議で遊休荒廃地対策として、大豆やそばの作付けを行う、	185	消費者・企業等交流型
木曾	継続	上松町	上松町農業委員会 上松町特産品開発センター利用組合 上松町機械化営農組合	農産物加工施設の加工原料生産による遊休荒廃地防止	大豆	①吉野地区、西小川地区 ②大豆、エゴマ ③農業委員会、上松町特産品開発センター利用組合、上松町機械化営農組合 ④地主の了解を得た遊休農地を再生する。⑤大豆を生産・加工し、学校給食等に提供し、子供たちに地産地消を理解してもらった。	70	地域特産物開発型

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ(タイトル)	作目名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積(a)	取組タイプ
松本	継続	塩尻市	塩尻市農業公社		大豆	①市内 ②大豆 ③宗賀南部営農組合、洗馬地域営農組合、広丘郷原地区営農組合 ④農業従事者の高齢化及び担い手不足による遊休農地を活用するため、営農組合を設立する中で機械化一貫体系による栽培が可能な大豆栽培について、農業公社が作業を受託している。 ⑤収穫された大豆は、味噌・醤油・豆腐用として販売したほか、農業公社が大豆を利用した製品の製造を専門業者へ委託し、JA直売所、道の駅等で販売している。	2,760	付加価値向上型
松本	継続	生坂村	生坂村農業公社	いくさか大豆まめクラブによる解消取組み	大豆	コープながのと連携し、農業公社が行う大豆の生産・加工事業についてクラブ員を募り、収穫作業や味噌・豆腐等の加工作業を通じて農業・農村の大切さに対する理解と交流を深めるとともに遊休農地解消運動をすすめる。 ①生坂村内 ②大豆 ③生坂村農業公社・コープながの ④現在村の振興策として農作業を通じた都市住民との交流事業を進めている。 1.H19元気づくり支援金にて大豆の加工施設を整備 うお父さん頑張る会で大豆等の作付による遊休農地解消の推進 ⑤コープながのの会員を対象にクラブ員を募集し登録する。	20	消費者・企業等交流型
松本	継続	生坂村	生坂村農業公社	お父さん頑張る会による地産地消の取組	大豆	①生坂村内 ②大豆 ③お父さん頑張る会 ④お父さん頑張る会は、農業公社の支援組織として活動し、村特産の豆腐の原料となる地元産大豆の栽培を中心にを行い、遊休農地の解消を図っている。 ⑤遊休農地への地元産大豆の作物を栽培し農業公社を支援している。	160	付加価値向上型
長野	継続	長野市	県庁生協、県農業会議、長野地方事務所、長野農業改良普及センターの職員	大豆手前味噌運動	大豆	松代地区の遊休農地を解消して大豆を栽培し、収穫した大豆を利用して味噌づくりを行った。	5	その他
長野	継続	長野市 芋井	平生産管理組合	遊休農地で大豆を栽培	大豆	過去にはニンニク、トウガラシなどの試作もしたが、本年は大豆に絞って実施した。	237	その他
長野	継続	小川村 (高府)	村、村農林公社、普及センター、甲信クボタ	遊休農地で大豆を栽培	大豆	中山間地域でのクボタeプロを活用した遊休農地の復元と大豆栽培に取り組んだ。	80	消費者・企業等交流型
長野	継続	長野市 中条	市、農業委員会、SBC、小中高校、普及センター、甲信クボタ	子供たちみんなで大豆づくり	大豆	昨年に引き続き、関係機関と地域の小中高校が連携し、児童・生徒たちが、地域ブランドの西山大豆の栽培を通じ、地域の環境、農業と食のつながりが理解できるような取組を行った。	15	その他
北信	継続	中野市	中野市豊田農産加工施設利用組合みそ部	地産地消味噌加工	大豆	①中野市穴田、豊津 ②大豆 ③中野市豊田農産加工施設利用組合みそ部 ④遊休農地に大豆を栽培し、味噌造りを行っている。 ⑤地元産大豆を利用した味噌の販売を促進し、遊休農地への大豆栽培を拡大を図る。	25	付加価値向上型
北信	継続	飯山市	いいやま大豆100粒の会 農村女性マスター、味宝来応援団、東京・神奈川の飯山応援団、他	飯山の食と農を通じた都市住民との体験交流	大豆	①飯山市秋津 ②大豆 ③左記関係機関 ④東京や神奈川の都市住民等と連携し、食育も兼ね大豆の播種、草取り、収穫、豆腐・味噌作りを行った。(大豆100粒運動の一環で実施) ⑤④同様	20	付加価値向上型
北信	継続	中野市 山ノ内町	農村女性ネットワークたかやしろ	地産地消豆腐加工	大豆	①中野市、山ノ内町 ②大豆 ③農村女性ネットワークたかやしろ ④遊休農地に大豆を栽培し手作り豆腐を製造している。 ⑤遊休農地において大豆の栽培、手作り豆腐の製造を精力的に行った。	20	付加価値向上型
北信	継続	木島平村	木島平農業生産組合	遊休農地の活用と大豆の生産	大豆	①木島平村 ②大豆 ③木島平農業生産組合 ④水田の生産調整として取り組みを開始した経過を持ち、その能力を活用して、遊休農地に大豆やそばを作付けし、農地の活用を図っている。 ⑤農業振興公社で大豆製品の製造及び販売を行っており、連携しながら進める。	140	地域特産物開発型
佐久	継続	小諸市	掛川 育臣	耕作放棄地の解消	そば	①川辺地区御牧ヶ原区 ②そば ③掛川 育臣 ④耕作放棄地を再生利用し、そばの作付を行う ⑤平成23年度から引き続き、作付面積の拡大を図っていきたい。	55	その他
佐久	新規	小諸市	糠地そば組合	耕作放棄地の解消	そば	①西小諸地区糠地区 ②そば ③片桐 好久 ④代表の片桐氏を中心に地元住民数名が、遊休農地にそばの作付を行ってきた。栽培したそばは、農村振興施設「みはらし交流館」で霧下そばとして、農業体験参加者や地元住民に提供されている。 ⑤再生作業を行い、耕作面積の拡大を図りながら、併せてみはらし交流館周辺の耕作放棄地解消に取り組んでいく。	95	地域特産物開発型
佐久	継続	小諸市	菱野耕作放棄地をなくす会	耕作放棄地の解消	そば	①大里地区菱野区 ②そば ③依田 十三男 ④代表の依田氏を中心に地元住民数名が、平成23年度から再生作業を実施。 ⑤規模の拡大を図りながら、将来的には法人化も含め、再生農地を次世代につないでいけるよう取り組んでいきたい。	34	その他
佐久	継続	佐久市	協西えいっこの会	そばからふるさと活性化	そば	①協和地区協西集落 ②そば ③協西えいっこの会 ④荒廃農地の片づけを行ったのをきっかけとして、地域の活性化を目指して集落の有志が集まって平成10年に会を設立、高齢化や減反により遊休荒廃化した集落内の農地を借受けてそばの作付を始めた。	600	消費者・企業等交流型
佐久	継続	佐久市	上町そば会	自分たちのそばを打とう!	そば	①八幡(上町)地区 ②そば(取組面積70aのうち約25aは裏作に小麦を栽培) ③上町そば会 ④自分たちのそばを打ちたいの思いから、10年ほど前から遊休地を活用してそば作りを始めた ⑤そばの作付面積拡大とそば打ち講習の実施	70	消費者・企業等交流型
佐久	新規	佐久市	佐久市耕友会	遊休荒廃地でのそば栽培	そば	①伴野・根岸地区 ②そば ③佐久市耕友会 ④遊休農地の解消策として、会員所有の遊休農地にそばを作付を始めた ⑤イベントでのそば粉等の販売	20	消費者・企業等交流型

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ (タイトル)	作 目 名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積 (a)	取組タイプ
佐久	継続	佐久穂町	佐久穂町そば組合	遊休荒地対策事業	そば	①全域 ②そば ③佐久穂町そば組合 ④米の生産調整など遊休農地が増える中、農地の保全及び有効活用策としてそばを普及し、そばによる町おこしをはかり農業の活性化の一躍としたい。 ⑤遊休農地を活用し、そば作付け面積を拡大してそば振興を図る。	1,766	地域特産物開発型
佐久	継続	南相木村	南相木村そば生産組合	遊休農地対策事業	そば	①村内全域 ②そば ③組合員 ④再生した耕作放棄地の継続利用 ⑤そばを特産品として商品開発等を行い生産、販売の拡大を図る。	1,099	その他
佐久	継続	御代田町	町、農業委員会 塩野中山間地営農事業組合 御代田町そば振興会	耕作放棄地の解消	そば	①町内全域 ②そば ③町 ④町内の耕作放棄地解消及び増加を防ぐため、そば種子を町で購入し希望者に頒布する。 ⑤10aあたり6kgの種子を頒布(3年3作が条件)、町のコンバインを塩野中山間地営農事業組合・御代田町そば振興会へ貸し出し、刈り取りの業務を請負ってもらっている。出荷は個人で行うが、⑥農協を通して出荷したものについて200円/kgの価格保証補助金の交付もしている。	2,500	その他
佐久	継続	立科町	立科町農業委員会	遊休農地対策	そば	①立科町 ②そば ③立科町農業委員会 ④平成17年から遊休農地対策としてそばを栽培し収穫する取り組みを行っている。 ⑤今後も同様に続ける。	18	その他
佐久	継続	立科町	(株)立科町農業振興公社	遊休農地対策	そば	①立科町 ②そば ③(株)立科町農業振興公社 ④遊休荒地解消対策として、遊休農地の復旧と景観の向上、立科産そばの普及と特産化に取り組む。	76	その他
上伊那	継続	伊那市	内の萱集落		そば	①荒井区内の萱集落周辺 ②そば ③内の萱集落の農業者等 ④遊休農地、特に中山間部での栽培に適するソバ(サンルチン)を、(株)タカノと連携のもと作付 ⑤農業者が作付、(株)タカノ連携のもと商品化を計画していく。	706	地域特産物開発型
上伊那	継続	伊那市	荒町集落		そば	①高遠町藤沢地区荒町集落周辺 ②牧草・ソバ ③中山間 荒町集落協定 ④中山間直払制度の協定の活動として ⑤制度が許す限り、継続させていく。	170	その他
上伊那	継続	伊那市	ダツタンソバ協議会		そば	①市内各所 ②ダツタンソバ ③ダツタンソバ協議会 ④遊休農地、特に中山間部での栽培に適したダツタンソバをブランド化し特産品にすべく官学商が連携 ⑤(株)タカノ・信州大学が中心となり、栽培技術の向上等の研究を進めた。	61	地域特産物開発型
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会(小野営農組合)	そばの作付け、収穫	そば	そばの作付けを行う。	87	地域特産物開発型
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会(小野営農組合)	そばの作付け、収穫	そば	そばの作付けを行う。	33	地域特産物開発型
上伊那	新規	箕輪町	農事組合法人みのわ営農	遊休荒地の解消と地域振興	そば	①町内各所 ②そば ③農事組合法人みのわ営農 ④遊休荒地解消の対策としてそばの作付けを行なう。 ⑤高齢化に伴う農地の遊休化を防ぎ、食料自給率向上のために取り組む	100	地域特産物開発型
下伊那	継続	松川町	農産物直売組合「あい菜果」	遊休農地を活用したソバづくり	そば	①松川町上片桐②そば③農産物直売組合「あい菜果」④農産物直売所運営の一方で近隣の遊休農地解消に地域貢献をはたしたいと遊休農地へソバを作付け、そのそば粉を使って直売所のイベントとしてソバ打ち体験講座を開催⑤今後は、野沢菜などほかの作物も取り入れて農作業から加工までの体験講座を開催しながら遊休農地活用に取り組む。	30	消費者・企業等交流型
下伊那	継続	高森町	町、町営農支援センター、各地域農政集団	遊休農地活用推進	そば・大豆	①高森町全域 ②そば・大豆(つぶほまれ) ③高森町営農支援センターゆうき、各地域農政 ④(株)松島食品の情報により平成20年度から大豆「つぶほまれ」栽培に取り組むこととなり、栽培契約の下、遊休農地へは種、収穫を実施。地域内で農業ができなくなった農地を地域農政団体が借り受け秋そばの収穫作業を実施。 ⑤今後も発生しそうな遊休農地を地域で栽培振興を図る。	1,073	地域特産物開発型
下伊那	継続	根羽村	根羽村農家民宿の会 根羽村商工会 根羽村観光協会	遊休農地解消 景観形成による観光客誘致 そば大豆の地産地消	そば 大豆	①村内全域 ②そば・大豆 ③片桐氏(観光協会)・原氏(農家民宿の会) ④H19に片桐氏が個人で遊休地を30a借りてそばの栽培を始めた(収穫ほぼゼロ)。H20に相談あり、商工会を巻き込み再度そばを栽培。播種作業の体験とブログによる生育状況の報告、収穫祭の開催(収穫300kg)。そば収穫後、小麦(ユメアサヒ、ユメセイキ、ハナマンテン)を播種した。NPOみどりの風ほかより、播種および収穫の委託が可能となったことで、事業推進の目途がたつた。⑤H21はまず農業委員会での事業検討から始まり、村内全域で事業説明を行う	270	地域特産物開発型
下伊那	継続	喬木村	伊久間そば愛好会	遊休農地の解消及び活用	そば	①喬木村伊久間、②そば、③蕎麦の会、④そば好きが自らそば栽培を始めたのがきっかけ、徐々に面積拡大し、遊休農地対策も担うようになった。⑤そば粉の需要はあるので規模拡大を検討したい。	120	地域特産物開発型
木曾	新規	木曾町	農事組合法人 アースかいた	十割生蕎麦の開発による消費拡大	そば	①木曾町開田高原西野②そば③農事組合法人構成員6名④平成21年7月30日に設立され耕作放棄地の再生利用を行ってきた。⑤再生利用された農地からソバ生産しており、ソバ粉十割の生蕎麦を試作し、消費拡大に向けた取り組みを展開した。	100	付加価値向上型

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ(タイトル)	作目名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積(a)	取組タイプ
木曾	新規	南木曾町	蘭地域振興協議会、農業委員会、町、木曾農業改良普及センター、株式会社関東甲信クボタ	そばによる遊休農地の解消	そば	①吾妻尾越地区向ヶ原地区②そば③蘭地域振興協議会・農業委員会・町・木曾農業改良普及センター・株式会社関東甲信クボタ④平成24年度取り組み開始⑤遊休農地を活用した作付け農地の拡大とそばの地産地消を推進した。	56	地域特産物開発型
木曾	継続	木祖村	木祖村営農支援センター菅地区ソバ振興組合	そば生産による耕作放棄地再生利用	そば	①菅木山沢地区②そば③木祖村営農支援センター・菅地区ソバ振興組合④平成22年度取り組み開始⑤耕作放棄された農地の利用権を設定し、農地として再生しそば畑として利用した。(H22～H23 95a H24 123a)	218	付加価値向上型
木曾	継続	大桑村	農業委員会、JA大桑女性部	蕎麦による遊休農地の解消	そば	①野尻新田地区②そば③農業委員会、JA大桑女性部④平成22年度取り組み開始⑤遊休農地を活用した作付け農地の拡大とそばの地産地消を推進した	30	地域特産物開発型
松本	継続	松本市	縄文の丘 中山そば振興会	耕作放棄地の再生と地域の活性化	そば なたね	① 松本市中山地区 ② そば ③ 縄文の丘中山そば振興会 ④ H18 「縄文の丘中山新そば祭り」を通じ、そばの特産品化を目指す H19 元気づくり支援金でコンバイン、乾燥施設を整備 遊休農地の整備 H20 遊休農地の整備 H21 遊休農地の整備 H22 遊休農地の整備 H23 遊休農地の整備 耕作放棄地再生交付金でコンバインをリース導入 H24 遊休農地の整備 耕作放棄地再生交付金でトラクター等をリース導入 ⑤ 遊休農地を有効活用し、そこで栽培されたそばを使ってそば打ち体験会を実施 地産地消の取り組みによる地域の活性化を図る。	106	地域特産物開発型
松本	継続	塩尻市	塩尻市農業委員会	耕作放棄地再生事業	そば	①市内 ②そば ③農業委員 ④遊休荒廃農地を解消するため農業委員会自ら栽培を実施。 ⑤農業委員会自ら耕作し、遊休荒廃農地の解消を図る。収穫後は農業委員、事務局に販売。	48	その他
松本	新規	生坂村	小立野楽笑会	クリーンアップ小立野	そば	①村内 ②そば ③小立野楽笑会 ④平成22年に荒廃農地50aの解消を行うとともに、雑木林の整備を行いながら美しく気のある地域づくりを進めてきた。 ⑤100a(荒廃農地50a)でソバを耕作し、その一部で「ソバ刈り、ソバ打ち体験ツアー」を実施。	50	消費者・企業等交流型
北安曇	継続	大町市	八坂そば組合	遊休荒廃農地復旧によるそば栽培で地域振興	そば	旧八坂村の畑地の遊休地を活用し秋そばの栽培を行い、八坂地区内の蕎麦屋、宿泊施設に供給して、地産地消に取り組んでいる。新そば祭り等のイベントも開催している。	240	地域特産物開発型
北安曇	継続	大町市	仁科の里づくり	遊休荒廃地解消による地域振興	そば	大町市民俗資料館北の荒廃地化した農地について樹木伐採等による解消活動を行い、伐採した樹木による薪づくりや景観に配慮したそば栽培を行っている。	120	地域特産物開発型
北安曇	新規	小谷村	黒川生産協同組合	荒廃農地復旧によるそば栽培で地域振興	そば	・農地に再生し、そばの生産による地域の振興を図る。荒廃農地を復旧し、村の振興作物である「そば」を栽培し、景観形成と併せた地域振興を実践する。	207	地域特産物開発型
北安曇	継続	小谷村	曾田未来ファーム	荒廃農地復旧によるそば栽培で地域振興	そば	・農地に再生し、そばの生産による地域の振興を図る。荒廃農地を復旧し、村の振興作物である「そば」を栽培し、景観形成と併せた地域振興を実践する。	217	地域特産物開発型
北安曇	継続	小谷村	中谷百姓汗水会	荒廃農地復旧によるそば栽培で地域振興	そば	・農地に再生し、そばの生産による地域の振興を図る。荒廃農地を復旧し、村の振興作物である「そば」を栽培し、景観形成と併せた地域振興を実践する。	237	地域特産物開発型
北安曇	新規	小谷村	虫尾七滝農園	荒廃農地復旧によるそば栽培で地域振興	そば	・農地に再生し、そばの生産による地域の振興を図る。荒廃農地を復旧し、村の振興作物である「そば」を栽培し、景観形成と併せた地域振興を実践する。	34	地域特産物開発型
長野	継続	長野市(戸隠)	主催:戸隠そば再興大作戦会議(農家、地域住民)、協力:農業委員会、戸隠そば商組合、長野市、普及センター	戸隠そば再興大作戦	そば	戸隠そば再興大作戦会議では、遊休化した農地を活用して、在来品種の作付けを拡大し再興させる取り組みを行った。収穫したそばは、戸隠そば商組合加盟のそば店で利用する予定。	40	その他
長野	継続	長野市	浅川地区遊休農地活性化委員会、長野市農業委員会、長野市、JAながの	遊休農地でそばを栽培	そば	以前高原野菜栽培を行っていた畑が遊休化していたところに、活性化委員会でそば栽培を行った。	100	その他
長野	新規	長野市小田切	小田切地区住民自治協議会、小田切遊休農地活性化委員会、小田切うんめえ塾、普及センター	遊休農地再生による農業体験の場づくり	そば	小田切地区の小野平において、遊休農地の木の伐採から再生活動を行い、地区内外から小田切うんめえ塾の塾生を募り、農業体験の場として活用する取組を行った。	25	消費者・企業等交流型
長野	継続	高山村	赤和ひまわりの会、製粉会社	そば業者との連携による遊休農地でのそば栽培	そば	高山村赤和地区で、そば業者と連携し、遊休農地にそばを作付した。	200	その他
北信	継続	中野市	JA中野市青年部及びJA中野市各地区青年部	遊休農地へのそば、とうもろこしの作付け	そば、とうもろこし、大豆	①中野市全域 ②そば、とうもろこし、大豆 ③JA中野市青年部及び各地区JA青年部 ④JA中野市青年部等が遊休農地の解消を目的に各種野菜の栽培に取り組んでいる。 ⑤収穫時に小学生を招くなどし、地域住民と親睦及び連携を図りつつ、遊休農地の解消に取り組んだ。	280	地域特産物開発型
北信	継続	飯山市	信州いいやま観光局	里山の景観形成とボランティアモデル	そば、大豆	①飯山市土倉区、柄山区 ②そば・大豆 ③信州いいやま観光局 ④農地の有効活用と「なべくら高原・森の家」来訪者を対象とした農業体験からそば打ち体験につなげている。 ⑤美しい農村空間作りとして推進	30	地域特産物開発型
北信	継続	山ノ内町	山ノ内町そば機械利用組合	適期・適量は種、適期刈り取りによる収量の確保	そば	①山ノ内町 ②そば ③山ノ内町そば機械利用組合 ④ ⑤町ではそば振興補助金を交付、農業改良普及センターでは栽培講習会の開催 ※取組面積は放棄地で栽培している面積	2,450	地域特産物開発型

地事	取り組みの 新規・ 継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ (タイトル)	作 目 名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んで いくか)	取組 面積 (a)	取組タイ プ
北信	継続	山ノ内町	北志賀レインボー倶楽部	そばの販路拡大	そば	①山ノ内町須賀川 ②そば ③レインボークラブ(須賀川地区の農家及び非農家の組織)のそばの里づくり実行委員会 ④ ⑤町ではそば振興補助金を交付、農業改良普及センターでは栽培講習会の開催 ※取組面積は放棄地で栽培している面積	317	地域特 産物開 発型
北信	継続	木島平村	木島平村農業振興公社	遊休農地を活用したそ ばの生産とそばの販路 拡大	そば	①木島平村 ②そば ③木島平村名水火口そばの会各構成団体 ④地域のそば粉を使ったそばを「名水火口そば」と命名し、ブランド化を目指した取り組みを始 めた。生産拡大、品質向上及びPRが課題となっている。 ⑤農業振興公社、生産組合、そばの会構成団体等各者連携しながら進める。	46	地域特 産物開 発型
佐久	新規	小諸市	土屋 岳人	耕作放棄地の解消	その他	①西小諸地区糠地区 ②ズッキーニ ③土屋 岳人 ④周辺でズッキーニ栽培を行っており、規模拡大を図るため、再生作業を実施したい。 ⑤再生作業を行い、耕作面積の規模の拡大を図る。	38	その他
佐久	新規	小諸市	井澤 清人	耕作放棄地の解消	その他	①大里地区 ②加工用トマト ③井澤 清人 ④周辺で加工用トマト栽培を行っており、規模拡大を図るため、再生作業を実施。 ⑤再生作業を行い、耕作面積の規模拡大を図る。	105	地域特 産物開 発型
佐久	継続	小海町	NPO法人じろ倶楽部	環境保全型農業の実 践	水稲・ ジャガ イモ・ ひまわ り	①小海町鎚掛地区 ②水稲・ジャガイモ・ひまわり ③NPO法人じろ倶楽部 ④地域の子供たちや都市部の子供たちに米やジャガイモを有機農法により栽培体験させ ることにより、環境問題・食の問題等を身近に感じてもらう機会にする。 ⑤町内外の子供たちを集め、播種から収穫・調理して食べるところまでをすべて体験させ る。	50	その他
佐久	継続	小海町	㈱小海コンポース	遊休農地活用推進	その他	①小海町五箇地区 ②アスパラガス ③㈱小海コンポース ④春アスパラの産地化を図るため平成20年から試験栽培を行っている。 ⑤遊休農地を借り上げ、会社管理で栽培を行っている。	161	その他
佐久	継続	北相木村	北相木ひまわり会	景観形成・特産品開 発・遊休農地解消を 目的とした事業	その他	①村内全域 ②搾油用ひまわり ③北相木ひまわり会 ④特産品開発・景観形成・遊休農地解消の3つを目的として21年度途中から参加者を 募り、村の主導で始めたもの。有志による会が発足し、22年度から会が主体となって取 り組む。 ⑤参加者を増やし栽培面積を増やし、規模を拡大していく。	54	地域特 産物開 発型
佐久	継続	立科町	ひまわりを増やす会	遊休農地対策 特産品開発 景観形成	その他	①宇山・大深山区 ②搾油用ひまわり ③ひまわりを増やす会 ④遊休農地の解消、特産品の開発、景観形成、農業所得の向上のため、地域住民が参 加を募り取り組みをはじめた。	50	その他
佐久	継続	立科町	蟹原芋の会	遊休農地対策	芋	①蟹原地区 ②芋 ③蟹原芋の会 ④遊休農地解消対策として、芋焼酎を芋の生産から取り組む。	20	その他
上小	継続	上田市	上田市農業支援センター 上田農業再生協議会	養蚕業の衰退、担い手 不足から耕作放棄され た畑(桑園)の再生	桑(マル ベリー)	①上田市岡(滝)地区、別所温泉(東市坂)地区、古安曾(柳沢)地区、生田(北原)地区 ②桑(マルベリー) ③NPO法人エリスン ④平成23年度から「耕作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、荒廃したりんご園地や桑 園等の再生作業に取り組むこととした。取組主体は21年度から桑園再生に取り組んでおり、将来 は市内で10haの農地管理を目指している。 ⑤「耕作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、耕作放棄地の再生を図った。今後は、桑園 への再生し、実をジャムに、葉をお茶にするなど6次産業化を目指す。	421	消費者・ 企業等 交流型
上小	継続	上田市	上田市農業支援センター 上田農業再生協議会	担い手不足から耕作放 棄された果樹園地の再 生	りんご ぶどう	①上田市殿城(赤井)地区(りんご)、芳田(上ノ原)地区(ぶどう) ②りんご、ぶどう ③上野原荒廃地対策組合 ④市では、年間10aの耕作放棄地の解消を目指しており、その一環として平成23年度から「耕 作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、りんご園地等の再生に取り組むこととした。 ⑤「耕作放棄地再生利用対策交付金」や「県単地域営農サポート組織支援事業」等を活用して 果樹園等として再生された。	121	その他
上小	継続	上田市	上田市農業支援センター 上田農業再生協議会	農業従事者の高齢化、 担い手不足から耕作放 棄された畑の再生	野菜(学 校給食 用)	①上田市御岳堂(中山)地区 ②学校給食用野菜 ③信州うえだファーム ④市では、年間10aの耕作放棄地の解消を目指しており、その一環として平成23年度から「耕 作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、畑の再生事業に取り組むこととした。 ⑤「耕作放棄地再生利用対策交付金」等を活用して畑地として再生した。	203	消費者・ 企業等 交流型
上小	新規	東御市	東御市農業農村支援センター 東御市農業委員会 東御市	加工用ブドウによる担 い手不足から耕作放棄 された畑の再生	果樹	①東御市柵津地区・和地区 ②加工用ブドウ ③地区農業者 ④高齢化、担い手不足等により耕作放棄地となっていることから、市内産ワイン用ブドウを「耕 作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、耕作放棄地の再生を図ることとした。 ⑤「耕作放棄地再生利用対策交付金」等を活用し、耕作放棄地の再生を図った。	136	地域特 産物開 発型
上小	新規	東御市	東御市農業農村支援センター 東御市農業委員会 東御市	担い手不足から耕作放 棄された畑の生食用ブ ドウへの再生	果樹	①東御市柵津地区・和地区 ②生食用ブドウ ③地区農業者 ④高齢化、担い手不足等により耕作放棄地となっている農地を東部町特産のブドウ産地として 再生を図ることとした。 ⑤土地所有者と土地利用者が利用権を設定し、国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金 事業」を活用して、耕作放棄地の再生事業に着手した。	80	その他

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ(タイトル)	作目名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積(a)	取組タイプ
上小	継続	長和町	松沢地区集落営農組合、長和町農業委員会、よだくぼ南部地区農業支援センター、長和町	知恵を絞っていいものいっぱい「松沢」	そば ワラビ キビ 山ウド 柿 栗	①長和町和田松沢地区 ②そば、ワラビ、キビ等 ③松沢地区集落営農組合 ④松沢地区は、農家の高齢化、兼業化、また不在地主の増加が進み、さらに近年のニホンジカの爆発的な増加による農作物被害の拡大により、農家の生産意欲が減退し農地の荒廃が加速度的に進行していた。平成19年度に上小農業改良普及センターが、ヤギによる荒廃農地解消対策や、獣害防止対策の実証試験を松沢地区で実施したことや、よだくぼ南部地区農業支援センターと共同でアマワラビの試験栽培を行ったことから集落営農に対する機運が高まり、平成20年3月に松沢地区集落営農組合を立ち上げた。 ⑤平成25年度についても上記の取り組みを継続していく。	424	地域特産物開発型
上小	継続	長和町	よだくぼ南部地区農業支援センター	耕作放棄地の再生	花豆・モロッコインゲン	①長和町男女倉地区 ②花豆、モロッコインゲン ③男女倉地区農業者 ④男女倉地区では、農家の高齢化による労働力不足、若者の転出等による担い手不足により荒廃農地が増加しており、解消対策に悩まされていた。平成24年度に耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、耕作放棄地の解消に向けて取り組んだ。 ⑤標高が1,000m以上あることから、作付作物に限られるため、引き続き、花豆・モロッコインゲンを作付予定である。	99	その他
上小	継続	青木村	管社里山ひつじ会、青木村農業再生協議会、青木村農業支援センター	荒廃農地の再生と環境保全	綿羊の放牧	①青木村当郷管社地区 ②牧草 ③管社里山ひつじ会 ④高齢化や兼業化、不在地主の増加により放置されたブドウ・ホップの栽培棚等が荒廃し、そこを住処とする鳥獣被害に悩まされていたことから、平成23年に地元の有志が集まり組織を立ち上げ、荒廃農地の整備と獣害防止柵の設置、綿羊(サホーク)の放牧による農地の再生と景観保全に取り組むこととした。 ⑤整備した農地に羊を放牧し、青少年のふれあい体験活動の場や、観光客の憩いの場とした。	260	その他
上小	継続	青木村	青木村農業再生協議会 青木村農業支援センター	荒廃農地の再生と環境保全	そば、大豆、野菜	①青木村奈良本原地区 ②そば、大豆、野菜 ③奈良本原地区農業者 ④高齢化、担い手不足等により耕作放棄地となっていることから、畑地に再生そば、大豆、野菜の推進を図ることとした。 ⑤土地所有者と土地利用者が利用権を設定し、「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業」を活用して、畑地に再生した。	268	その他
諏訪	継続	岡谷市	樋沢地区高冷地農業活性化組合	遊休農地でスイートコーン及びアマワラビの栽培	スイートコーン、アマワラビ	樋沢地区高冷地農業活性化組合が主体となり、牧草地であった遊休農地への、スイートコーン及びアマワラビの栽培を引き続き実施した。	470	地域特産物開発型
諏訪	継続	原村	原村	市民農園での農業体験	トマト、ナス、キュウリ、他	遊休化した農地に、特定農地貸付法を活用し栽培指導・管理指導を行う相談員を設置し、非農家に農地を貸付て果菜類の作付けを実施した。	70	その他
上伊那	継続	伊那市	伊那地域アマランサス研究会		アマランサス	①市内各所 ②雑穀アマランサス ③伊那地域アマランサス研究会 ④遊休農地に花を植え観光地づくりをしようとする市民活動から、観光資源として栄養価の高いアマランサスを活用して地域振興に役立てようと官学商が連携 ⑤地産地消をキーワードに広く市民への啓発活動を行った。	50	地域特産物開発型
上伊那	継続	伊那市	NPO法人南アルプス食と暮らしの研究所		雑穀	①長谷・高遠地区中心 ②アマランサス・高キビ・シコクビエ・モチキビ・モチアワ ③NPO南アルプス食と暮らしの研究所 ④遊休農地、特に中山間部での栽培に適し、栄養価の高い雑穀類を広く伝える ⑤NPOが中心となり、道の駅レストラン「野のもの」の食材に用いるなど	150	地域特産物開発型
上伊那	継続	伊那市	あすなろ会、市、JA、畜産農家、家保、地事農政課、普及センター	牛の百草刈	畜産	2004年から始めた事業。今年は遊休農地に繁殖用黒毛和牛7頭を放牧し、8月には牛が草を食べた一角を電気牧柵で囲ってソバの種をまいた。	350	その他
上伊那	継続	伊那市	非持山ツルニンジン研究会(約13名)、市		ツルニンジン	非持山集落の活性化及び特産物の振興を目的に栽培に取り組んだ。	15	地域特産物開発型
上伊那	新規	伊那市	農事組合法人「田原」	農業体験を通じて再生	サツマイモ	①東春近田原地区上段 ②サツマイモ(焼耐用) ③農事組合法人「田原」 ④友好提携都市新宿区との交流 ⑤都市部との農業体験交流を通じ再生していく。再生作業体験、鹿柵設置体験、定植作業体験、収穫体験などを実施した。	4	消費者・企業等交流型
上伊那	継続	駒ヶ根市	中沢地区営農組合	振興作物推進	柿	①駒ヶ根市中沢地区 ②柿 ③中沢地区営農組合 ④H21計画、H22実施～継続 ⑤中沢地区全体での振興作物の推進であり、全体の面積は約12ha。内遊休農地はおおよそ1/2であり、右の面積はおおよその遊休農地面積である。	600	地域特産物開発型
上伊那	継続	駒ヶ根市	東伊那営農組合	振興作物推進	柿	①駒ヶ根市東伊那地区 ②柿 ③東伊那営農組合 ④H21計画、H22実施～継続 ⑤東伊那地区全体での振興作物の推進であり、全体の面積は約8ha。内遊休農地はおおよそ1/2であり、右の面積はおおよその遊休農地面積である。	400	地域特産物開発型
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会(農業委員会、普及センター)	ひまわりの作付けによる景観保全と耕作放棄地再生利用。	ひまわり	国道153号線沿いにある耕作放棄地にひまわりを作付けして、景観保全と耕作放棄地対策の宣伝を行う。また、ひまわり油を搾油して販売する。	55	その他

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ (タイトル)	作 目 名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組 面積 (a)	取組タイ プ
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会、大庭共同耕作組合、町内の農家	作付け作物の検討、野菜の作付け	白ネギ、スイートコーン、ブルーベリー等	野菜の作付け	320	地域特産物開発型
上伊那	継続	辰野町	農業再生協議会(小野宮農組合)	作付け作物の検討、にんにく栽培等	にんにく等	にんにく、小麦等の栽培	270	地域特産物開発型
上伊那	継続	箕輪町	箕輪町あんず生産組合	あんず栽培による景観形成(観光地スポット化)と地域振興	あんず	①中箕輪沢長田地積 ②あんず(生食用・加工用) 矢澤秀明 ④平成17年度から遊休荒廃地解消対策してあんずの苗木を植樹し始めた。 ⑤順次計画圃場面積の拡大を図ってきているので、周辺の果樹(りんご・梨)農家及びびながた荘(みのわ振興公社)とタイアップして観光農園を目指し情報発信等の検討及びアズンの増植(10本)を行なう。	90	地域特産物開発型
上伊那	継続	箕輪町	もみじ湖夢くらぶ	花と果実が楽しめる果樹の里づくり	あんず・もも	①東箕輪南小河内地積 ②あんず(生食用・加工用)・もも ③根橋英夫 ④荒廃地の解消と花と果実が楽しめる里作り形成という有志の提案が具体化したもの。⑤24年以降も維持管理等を行なう。	100	地域特産物開発型
上伊那	継続	箕輪町	これからの農業・林業を考えるEグループ	遊休荒廃地の解消と地域振興及び後継者の育成	景観植物・そば	①中箕輪上古田地積 ②景観植物(ハブリーブルー・チューリップ等)・野菜 ③唐澤光範 ④町振興計画の部会から派生したグループで、地元の遊休荒廃地解消を柱として活性化、後継者育成を目的にH18から取り組みを始めた。 ⑤農家世帯の高齢化に伴う農地の遊休化を防ぎ、地域全体での活性化を目的に取り組みを行なう。	130	その他
上伊那	継続	飯島町	(株)七久保栗の杜	地域の農業振興 遊休農地の活用	栗 そば	①飯島町七久保地区 ②栗・そば ③(株)七久保栗の杜 ④高齢化・担い手不足により遊休荒廃農地化した農地、また荒廃農地となりそうな農地へ栗を主体とした作付けを行った。 ⑤基本的には借り受けた農地への栗の栽培により事業展開をしていくが、定植地へのそばを栽培した。	320	その他
上伊那	継続	中川村	農業委員会 営農センター	遊休農地の活用	大根	①中川村牧ヶ原地区 ②大根 ③農業委員会 ④平成20年度より遊休農地の解消目的で、大根、そばを作付け。作付けた大根等は、村内学校関係、福祉施設等に提供し活用。 ⑤面積等については小さいが、遊休農地解消に繋げ、収穫した作物については今後も配布を継続していく。	5	その他
下伊那	継続	飯田市	原地区モデル営農プロジェクト(座光寺地区代表、座光寺地区農業代表、飯田市、市農業委員会、JA、下伊那園芸振興協議会、市農業振興センター、農改)	果樹地帯の集落営農	りんご	果樹地帯のモデル営農づくりを目指し平成19年度から、遊休地にて新しい化栽培の技術導入に向けたM9自根苗木づくりを行い、21年度からはモデル園として試験栽培。遊休農地借り受けによる、新規就農者の受入、及び里親研修生の受入、短期農業体験プログラムの実施を行っている。	20	付加価値向上型
下伊那	継続	飯田市	下久堅新しい化プロジェクト(地区代表、地区農業代表、飯田市、市農業委員会、JA、市農業振興センター、農改)	果樹団地の再生	りんご	大原果樹団地の遊休地にて新しい化栽培の技術導入を決め、21年1月より活動を開始し、新しい化苗を育苗し飯田市下久堅とJAみなみ信州管内に配布。新規就農者の受入も行っている。	73	付加価値向上型
下伊那	継続	飯田市	飯田市農業振興センター、南原活性化委員会、あゆみ園	遊休農地を再生と地元野菜の栽培	リヤトリス、鷹の爪	下久堅地区南原区の区民が遊休農地を活用して、リヤトリスと鷹の爪を栽培。鷹の爪の乾燥などをあゆみ園と協働して行い、それぞれの農産物を販売。	54	付加価値向上型
下伊那	継続	飯田市	飯田市農業振興センター、小野子人蔘クラブ	遊休農地を再生と地元野菜の栽培	にんじん	上久堅地域の遊休農地を耕作し、地元固有の野菜、小野子人蔘を栽培している。	15	付加価値向上型
下伊那	継続	飯田市阿智村	飯田菓子組合、各市町村農業振興センター、十勝農試、中信農試	小京都飯田の菓子組合と連携	小豆	飯田菓子組合の内の12軒の菓子店から地元で生産された小豆を使った新商品「屋台獅子もなか」等開発のため、H19年度から契約栽培開始。中山間地の遊休農地対策として有効。今年度は約30戸が取り組み。課題であった選別作業について、21年度の元気づくり支援金により小豆専用の選別機を導入し、安定供給をめざしている。	128	地域特産物開発型
下伊那	継続	飯田市松川町	南信州きくいも愛好会 日本きくいも振興会	南信州きくいもの里づくり	きくいも	飯田市及び松川町の生産者、飲食店、愛好者等で南信州きくいも愛好会を組織し、遊休地にきくいもを植える活動を展開中。生産したきくいもから、きくいも麺、きくいも焼酎を開発し賛同した直売所等で販売している。需要を伸ばす事が課題。	50	地域特産物開発型
下伊那	継続	阿智村飯田市	地区栽培グループ 地元豆腐店、 中信農試	遊休農地の活用と特産品の開発	青豆	H18年度より、清内路村内の手作り豆腐店の呼びかけで、地元産の青大豆を用いた豆腐作りのための作付けが進んでいる。今年度は飯田市を含めた2市町村で実施。	40	地域特産物開発型
下伊那	継続	松川町	農業委員会 (議会、有志の一般参加)	遊休農地の解消のための省力作物導入	加工用サツマイモ	①松川町上片桐地区②加工用サツマイモ③松川町農業委員会④H20年度に農業委員会として遊休農地解消に向けた具体的な取り組みを検討、H21年度に近隣の酒造会社に芋焼酎の受託醸造を依頼して原料芋作付けを実施⑤地域ぐるみの活動にすべく、議会や町内酒販売店、商工会、一般町民を巻き込んで「松川いもくらぶ」を立ち上げた。	20	消費者・企業等交流型
下伊那	継続	阿南町	一般社団法人 信州あなん トータルマーケティング	農産物の有利販売による農業生産振興・特産品開発他 (事例：遊休農地を活用した栽培モデルほ場の設置)	野菜	①阿南町内数カ所 ②サニーレタス、スイートコーン、トマト、その他③信州アトム、④独自の流通確保で農産物の有利販売と農業振興を図るためアトム設立。出荷販売業務を主体に様々な農業支援を行っている、⑤町内での野菜栽培振興のため、遊休農地を活用してモデルほ場を設置。	30	地域特産物開発型

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ(タイトル)	作目名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積(a)	取組タイプ
下伊那	継続	阿智村	阿智村 阿智村農業委員会 智里東地域営農	遊休地の解消と ヤーコンの産地作り	ヤーコン	地域の有志により遊休地の解消とヤーコンの生産販売を行い、地域の活性化を図る。	80	地域特産物開発型
下伊那	継続	阿智村	浪合地域営農	遊休地の解消と市田柿の産地作り	市田柿	阿智村、かぶちゃん農園と地元生産組合が協定を結び遊休地の解消と温暖化の傾向を見据えて、高標高地での市田柿の産地作りに取り組む。	100	地域特産物開発型
下伊那	継続	阿智村	阿智村役場 阿智村産業振興公社	機能性食品「菊芋」による遊休農地の解消と、村内における6次産業化	菊芋	①阿智村②きくいも③阿智村役場と阿智村産業振興公社④遊休農地の解消を目的に菊芋の生産を振興し、加工工場(製粉・製麺)を村内に設置することで、生産から加工までを村内で行なう菊芋を中心とした6次産業化を狙った事業である。昨年の試作を経て今年度は種芋の供給と村民の作付けが始まった初年度。⑤村外への販路の拡大と加工施設の利用率向上、新たな加工方法の探索などが、今後の取り組み課題。	320	消費者・企業等交流型
下伊那	継続	阿智村	阿智村清内路支所 農業法人清内路「健康の森」	遊休農地の解消と活用	黄芋 菊芋	農事法人「清内路健康の森」を中心に国指定天然記念物「大黒川のミズナラ」周辺の遊休農地の解消を目的に、清内路カボチャと黄芋を作付けする。	20	地域特産物開発型
下伊那	継続	大鹿村	村農業委員会	企業参入による農業の活性化	夏秋いちご 他	①大鹿村村内全域、②夏秋いちご、ブルーベリー、水稻等、③建設業等企業4社、④平成15年に村内企業が農業に参入できる特区を設けた。その後、各企業が地域活性化に向け特色ある取り組みをしている。特に夏秋いちごについては、高標高地が多い大鹿村は適地と考え村でも支援体制を整え、企業と協力し新規就農者も含めた担い手育成に努めている。⑤農地の集約、流動化推進。新たな担い手確保育成。	328	消費者・企業等交流型
木曾	継続	上松町	上松放牧利用組合	牛の放牧で農地再生	和牛子牛生産	①倉本地区②黒毛和種繁殖牛③上松放牧利用組合④平成22年度取り組み開始⑤畜産農家の牛を借りて放牧(2頭放牧)	50	その他
木曾	継続	南木曾町	農業委員会、南木曾町農技連	牛の放牧で農地再生	和牛子牛生産	①南木曾町内②黒毛和種繁殖牛③町農技連、農業委員会④平成20年度取り組み開始⑤畜産農家の牛を借りて放牧(延べ43頭放牧)	9,800	その他
木曾	新規	木曾町	(有)信州グリーンサポート	かぶ菜の漬物から新商品開発	かぶ	①三岳地区②かぶ③(有)信州グリーンサポート④平成21年度から耕作放棄地の再生利用に取り組みで来た。⑤再生利用農地からかぶを生産する中で、加工食品であるかぶ菜の漬物から新商品開発を行ない、消費拡大に取り組んだ。	100	地域特産物開発型
木曾	継続	木曾町	木曾雑穀研究会	雑穀再発見	雑穀	①木曾町開田高原、黒川他②雑穀③木曾雑穀研究会員(約50名)④平成20年1月16日木曾雑穀研究会を発足⑤地域に合った雑穀を計画的に作付けし、雑穀料理コンクールなどでPRを行なった。	250	地域特産物開発型
木曾	継続	上松町	上松町農業委員会 上松町特産品開発センター利用組合 上松町機械化営農組合	農産物加工施設の加工原料生産による遊休農地防止	エゴマ	①吉野地区、西小川地区 ②エゴマ ③農業委員会、上松町特産品開発センター利用組合、上松町機械化営農組合 ④地主の了解を得た遊休農地を再生する。⑤エゴマを生産・加工し、町内各所へ五平餅として提供するほ、か学校給食等に提供し、子供たちに地産地消を理解してもらった。	10	地域特産物開発型
木曾	継続	木祖村	農業委員会、岩淵地区自治会	牛の放牧で農地再生	和牛子牛生産	①菅岩淵地区②黒毛和種繁殖牛③農業委員会、岩淵地区自治会④平成22年度取り組み開始⑤畜産農家の牛を借りて放牧した。(2頭放牧)	57	その他
松本	継続	安曇野市	安曇野堀金「れんげの里」づくりプロジェクトチーム:市、南安曇農業高等学校など	安曇野堀金「れんげの里」づくりプロジェクト	レンゲ、黒大豆、そば、ヒマワリ、サツマイモ、コスモス	遊休農地を活用し、安曇野の原風景とも言えるレンゲ田を復活させる住民有志のグループを組織。レンゲをテーマとしたイベントなどを開催するとともに、作物(黒大豆、そば)の加工、販売を企画する。 ①安曇野市堀金倉田・扇町地区、穂高久保田地区 ②レンゲ、黒大豆、そば、ヒマワリ、サツマイモ、コスモス ③安曇野堀金れんげの里づくりプロジェクトチーム ④臼井吉見文学館友の会、安曇野地域住民ネットワークが呼びかけ平成20年4月、住民有志でプロジェクトチームを発足。地元の南安曇農業高等学校も参加し30名余で始動。 ⑤遊休農地対策として継続	250	地域特産物開発型
北安曇	新規	小谷村	中谷青物の会	遊休農地を復元してひまわり栽培で地域振興	山菜	・耕作放棄地を再生し、山菜を作付することで地域振興を図り景観形成と併せた地域特産物の振興をはかる。	11	地域特産物開発型
長野	継続	飯綱町 牟礼	農業委員会、甲信クボタ	遊休地を復元してひまわり栽培	ひまわり	飯綱町牟礼地区の遊休地を、農業委員会が中心となり、クボタプロジェクトを活用しひまわりを作付け。夏の観光シーズンに向けた景観整備の一環として効果が期待される。秋には種を収穫し、搾油する計画である。	37	その他
長野	継続	高山村	黒部猪の会、高山村、信大、農業委員会、関東甲信クボタ、普及センター	遊休農地でソルガム栽培	ソルガム	遊休農地にソルガムを栽培し、エノキ培地への利用と飼料活用を検討するとともに、子実加工についても研究した。	30	付加価値向上型
長野	継続	須坂市	信州豊丘めん羊飼育協議会	遊休農地を活用しためん羊の共同飼育	めん羊	須坂市豊丘地区の遊休農地を活用し、めん羊(サフォーク)の共同飼育を行う。協議会は、地区内の酪農経験者、遊休農地所有者、有志の計20名で構成している。構成員の増加と取り組み面積を増やす計画。	323	付加価値向上型

地事	取り組みの新規・継続	市町村	関係組織	取り組みテーマ(タイトル)	作目名	取り組み概要 (①場所、②作物、③中心となる組織(人)はだれか、④取り組み経緯、⑤どのように取り組んでいくか)	取組面積(a)	取組タイプ
北信	継続	木島平村	木島平村耕作放棄地対策協議会	緩衝帯整備を兼ねた耕作放棄地への放牧と獣害防除	牧草	①木島平村 ②牧草等 ③木島平村耕作放棄地対策協議会 ④特に多い山際農地の耕作放棄地が問題となる中、放牧による除草と放牧柵の設置による獣害防除を組み合わせで行っている。 ⑤対策地の地元有志農家による飼養管理。併せて耕作放棄地の解消のため、隣接地帯にそば、大豆の作付を検討している。	840	その他
北信	継続	中野市	(有)にんにくふぁーむ	にんにく等の安定的生産	にんにく、じゃがいも	①中野市江部ほか ②にんにく、じゃがいも ③(有)にんにくふぁーむ ④JA中野市営農センター連絡会等による遊休農地の情報提供を受け、平成17年度から無臭にんにくの栽培を開始した。 ⑤経営規模の拡大を目指しており、遊休農地を含め適地となる農地の集積を進めた。	2,000	付加価値向上型
北信	継続	中野市	中野市菊芋研究会	菊芋の栽培と加工品の製造	菊芋	①中野市田麦、岩井 ②菊芋 ③中野市農業委員等 ④農業委員が遊休農地解消を目的に平成19年度から遊休農地へ菊芋を栽培し、菊芋から焼酎などの地域特産物の開発に向けて研究を行っている。 ⑤現農業委員及び農業委員経験者が中心となり菊芋栽培を推進した。	15	地域特産物開発型
北信	継続	中野市	手作り工房M&K	大豆その他野菜の栽培	大豆その他野菜	①中野市各地 ②大豆その他野菜 ③手作り工房M&K ④遊休農地において大豆その他野菜の栽培を行った。 ⑤大豆のオーナー制度を行った。販売規格外の野菜を利用し、ジャム、ペーストの製造及び販売を行った。	10	地域特産物開発型
北信	継続	中野市	ぼたんこしょうファーム有限責任事業組合	遊休農地において信州の伝統野菜ぼたんこしょうの栽培	ぼたんこしょう	①中野市涌井、親川、梨久保 ②ぼたんこしょう ③斑尾ぼたんこしょう保存会 ④H20年3月に保存会が発足し、同年4月にぼたんこしょうが信州の伝統野菜に認定されたことを契機として、生産の拡大に向けて積極的な取り組みを開始し、遊休農地を利用した作付けの拡大を進めている。 ⑤生産物消費拡大のため、料理レシピやぼたんこしょう取り扱い飲食店マップなどを配布した。また、ぼたんこしょう祭り開催するなどし、消費の拡大を通じ、遊休農地を活用し栽培規模の拡大を図った。	70	地域特産物開発型
北信	継続	中野市	古川再生営農組合	遊休農地における小麦の栽培	小麦	①中野市上今井 ②小麦 ③古川管理組合 ④平成20年度から試験的に採油用ひまわりを栽培し、平成21年度からは小麦を栽培している。 ⑤栽培した小麦の製品化に取り組んだ。	750	その他
北信	継続	飯山市	花咲く会(常盤の遊休農地に菜の花を咲かせているグループ)	菜の花畑	野沢菜、枝豆、コスモス	①飯山市常盤 ②菜の花及び枝豆 ③花咲く会会員70名 ④菜の花祭り用菜花に加え、平成19年枝豆栽培を始めた ⑤JAを通して販売	1,300	地域特産物開発型
北信	継続	飯山市	菜の花さかせるかい	菜の花公園を中心とした菜の花づくり	野沢菜	①飯山市瑞穂 ②菜の花 ③会員43名 ④菜の花祭り用に栽培(9haであるが遊休農地のみは不明) ⑤荒らし防止のため省力管理	900	消費者・企業等交流型
北信	新規	飯山市	信州いいやま観光局	里山の景観形成とボランティアモデル	稲	①飯山市柄山区 ②稲 ③信州いいやま観光局 ④里山の景観再生、蜜の住める環境保全をテーマとした稲作オーナー制度を実施し、地域内外の人が参加した。 ⑤美しい農村空間作りとして推進	6	消費者・企業等交流型
北信	継続	山ノ内町	須賀川ギョウジャンニク研究会	ギョウジャンニクの生産振興	ギョウジャンニク	①山ノ内町須賀川 ②ギョウジャンニク ③須賀川ギョウジャンニク研究会 ④ ⑤他地域からの苗導入 ※取組面積は放棄地で栽培している面積	10	地域特産物開発型
北信	新規	山ノ内町	前坂大根の会	遊休農地対策・信州伝統野菜「前坂大根」の種の保存、継承、生産拡大	ダイコン	①夜間瀬・前坂地区②ダイコン③前坂大根の会④以前は前坂地区で大量に栽培され、地元湯田中・渋温泉郷の旅館でもたくあん漬けとして使われていた伝統野菜「前坂大根」だが、現在栽培農家は数軒に減少。「前坂大根」の種の保存と普及啓発、生産拡大を目的に会が発足。圃場を借り上げ会員により栽培技術の習得等今年から本格的に取り組む。⑤遊休化した農地を整備し、共同圃場を設置する。	8	付加価値向上型
北信	新規	山ノ内町	西部地区営農組合	遊休農地の復活	そば・野菜等	①夜間瀬地区②そば等③西部地区営農組合④町の「元気出せ！活かす遊休農地復活事業」を使い、夜間瀬地区の長年耕作をせず荒廃化している遊休農地を地区営農組合により整備する。⑤地区の遊休農地の実態を把握した上で、時には貸借の仲介もしながら町の事業を取り入れ耕うん・草刈・伐根・石レキ除去等遊休農地の整備を実施する。	530	地域特産物開発型
北信	継続	栄村	わらび園整備実行委員会	遊休農地を活用したわらび栽培	わらび	①栄村暮坪地籍 ②わらび ③わらび園整備実行委員4名(代表 石澤正) 栄村農業委員14名(会長 齋藤康夫) ④平成19年度より有志4名ではじめた。 ⑤荒廃農地内の草・雑木等の刈り払い作業、株を移植する。	20	その他